

2023年3月22日

コープみらい・コープデリ連合会「健康経営宣言」制定

一人ひとりの多様性が尊重され、安心して働き続けられる職場づくりを進めます

生活協同組合コープみらい(本部:埼玉県さいたま市、理事長:新井 ちとせ、事業エリア:千葉県・埼玉県・東京都)とコープデリ生活協同組合連合会(本部:埼玉県さいたま市、理事長:土屋敏夫)は、2023年3月21日に、職員一人ひとりが健康でやりがいを持ち、安心して働き続けられるよう、「健康経営宣言」を制定いたしました。

健康経営宣言

コープみらい・コープデリ連合会は、コープデリグループ理念「CO-OP とともに はぐくむ くらしと未来」およびビジョン2025「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。」を掲げ、組合員のくらしに貢献し続ける組織を目指しています。また、コープデリグループのSDGs重点課題の1つである「人にやさしく誇りが持てる組織を目指して」の達成に向けて、「健康経営」を推進することを宣言し、職員一人ひとりが個性や能力に応じて活躍し、心身ともに健康でやりがいを持ち、安心して働き続けられる職場づくりに取り組みます。

「健康経営」とは、職員が心身ともに健康でやりがいをもって働くことが「組織の活性化」「生産性の向上」に不可欠なものとして、健康保持・増進の取り組みを「経営課題」として捉え、具体的な施策を戦略的に実践することです。

コープみらい・コープデリ連合会は、理念およびビジョン、SDGs重点課題の達成に向けて、これまでも職員の健康保持・増進や働きやすい職場づくりを進めてきました。今回、「健康経営」の考え方を位置付けることで、現状の弱み・強みを明らかにし、改善に向けた取り組みを進めます。

「健康経営」の導入にあたっては、経済産業省「健康経営優良法人制度」の評価指標を活用します。これまでの取り組みの維持・向上を図るとともに、具体的な目標を定めることで、職員一人ひとりが健康で、安心して働き続けられるよう、さらなる取り組みを進めます。

具体的な取り組み例

■病気の治療と仕事の両立支援

これまで進めてきた、がんを始めとする疾病を抱える職員の復職・治療と仕事の両立支援の運用を続け、職員の心身の健康状態の把握と適切な支援を行います。

■女性の健康保持・増進に向けた取り組み

2023年3月より働く女性の健康課題改善をサポートするプログラムを導入します。

※2023年10月に経済産業省の「健康経営優良法人制度」の認証申請を行う予定です。

生活協同組合コープみらい 概要

【住所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5 【総事業高】 4,364 億円 ※2021 年度
【理事長】 新井 ちとせ(あらい ちとせ) 【事業エリア】 千葉県、埼玉県、東京都
【組合員数】 370 万人 ※2023 年 2 月 20 日現在 【ホームページ】 <https://mirai.coopnet.or.jp/>

コープデリ生活協同組合連合会 概要

【住所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13 【理事長】 土屋 敏夫
【総事業高】 6,190 億円(会員生協事業高計) ※2021 年度
【組合員数】 529 万人(会員生協組合員計) ※2023 年 2 月 20 日現在
【ホームページ】 <https://www.coopnet.jp/>